



学ぼう!SDGs

～みんなで考える世界の目標～

第17回 目標15「陸の豊かさを守ろう」

15 陸の豊かさも
守ろう



目標15「陸の豊かさを守ろう」

～陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る～

近年、地球温暖化による異常気象や森林伐採により自然が破壊され、100年後には現在の豊かな森林が無くなる可能性があります。自然は、空気や水、食料を提供してくれる必要不可欠な存在です。人間を含めたすべての生物が地球上で長く暮らしていけるように、わたしたちは自然環境と生物の多様性を守っていくことが必要です。

わたしたちができる身近な取り組み

■有機JASマークを見つけよう!

「有機JASマーク」とは、農薬や化学肥料などの化学物質に頼らずに自然界の力で生産された地球にやさしい食品に表示されているマークのこと。有機JASマークの付いた商品を選ぶことは大切な取り組みの一つです。買い物をするときは、有機JASマークを探してみてください。



■旬産旬消・地産地消を心がけよう!

「旬産旬消」は地球にやさしい消費行動です。施設で貯蔵するなどの手間ひまをかけて作らずに太陽や自然の力で育てられた農産物を食べるので、燃料やガス、電気を使わずCO²の削減につながります。「地産地消」は食料の輸送に伴うCO²を削減、流通時間の削減によりフードロスを軽減することができます。また、人間は食から四季の変化を感じることができ、旬のものを食べることは健康に良いともいわれています。旬の食材を楽しみながら、目標達成を目指しましょう!

JAようてい職員が考えるSDGs関連事業

JAようていの 「陸の豊かさを守ろう」

- ・GAP認証チェックリストに準じた野生動物増減数の把握
- ・電気牧柵・忌避機使用による農作物被害対策
- ・環境保全型農業の実施
- ・農薬の適正使用の啓発
- ・農地の維持

今後取り組むべき 「陸の豊かさを守ろう」

- ・森林組合との連携強化
- ・清掃活動・植樹
- ・ペーパーレス化の促進

参考:「1時間でよくわかるSDGsと協同組合」
「陸の豊かさを守ろう 国際開発センター」

(https://idc.jp/sdgs/img/IDCJ_SDGs_HANDBOOK_GOAL15.pdf)